

## 意義

2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針  
(平成27年11月27日閣議決定)

大会開催を契機に、オリンピック・パラリンピック教育の推進によるスポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する。

→ 上記の目的の為に、スポーツ庁において、**オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業**を実施する。

## 実施体制

オリパラ教育地域拠点（道府県、政令市）は、**オリパラ教育全国中核拠点**（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）と連携し、当該地域内で広くオリパラ教育を実施し、その成果を当該地域内に発信する。

## 地域拠点における主な取組内容

- 地域拠点における体制整備とコーディネーターの指定
- オリパラ教育推進校の指定(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等)
- 全国セミナーへの参加及び地域拠点内セミナーの開催
- オリパラ教育推進校における実践

### オリンピック・パラリンピックそのものについての学び

オリンピック・パラリンピックに関する知識、選手の体験・エピソード、大会を支える仕組み等を学ぶ。  
オリンピック・パラリンピックを通じた学び

オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツの価値、参加国・地域の文化・言語、共生社会、持続可能な社会、我が国・地域の伝統・課題等を学ぶ。

- 地域ワークショップ・報告会の開催及び全国ワークショップへの参加

## オリパラ教育の必要性

東京2020大会まで2年を切るなか、開催都市だけでなく、全国的なオリパラ・ムーブメントの推進が不可欠。特にパラリンピックへの関心の向上が課題。

オリパラ教育は、大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、オリパラを題材として、スポーツの価値、国際・異文化、共生社会への理解を深めるとともに、規範意識を養うなど多面的な教育的価値を持つ。我が国の無形のレガシーとして、オリパラ教育の必要性は高い。

## オリパラ教育地域拠点

### 事業内容

- ・各地域で地域セミナーを開催
- ・教育推進校を指定し、推進校ではオリパラを題材にした授業・競技体験等を展開
- ・推進校の内容を地域報告会で地域内の学校に共有

【平成31年度（新規）】

- ・パラリンピック競技の観戦・体験事業を重点的に実施  
より多くの生徒が2020年のパラリンピックを競技会場で観戦

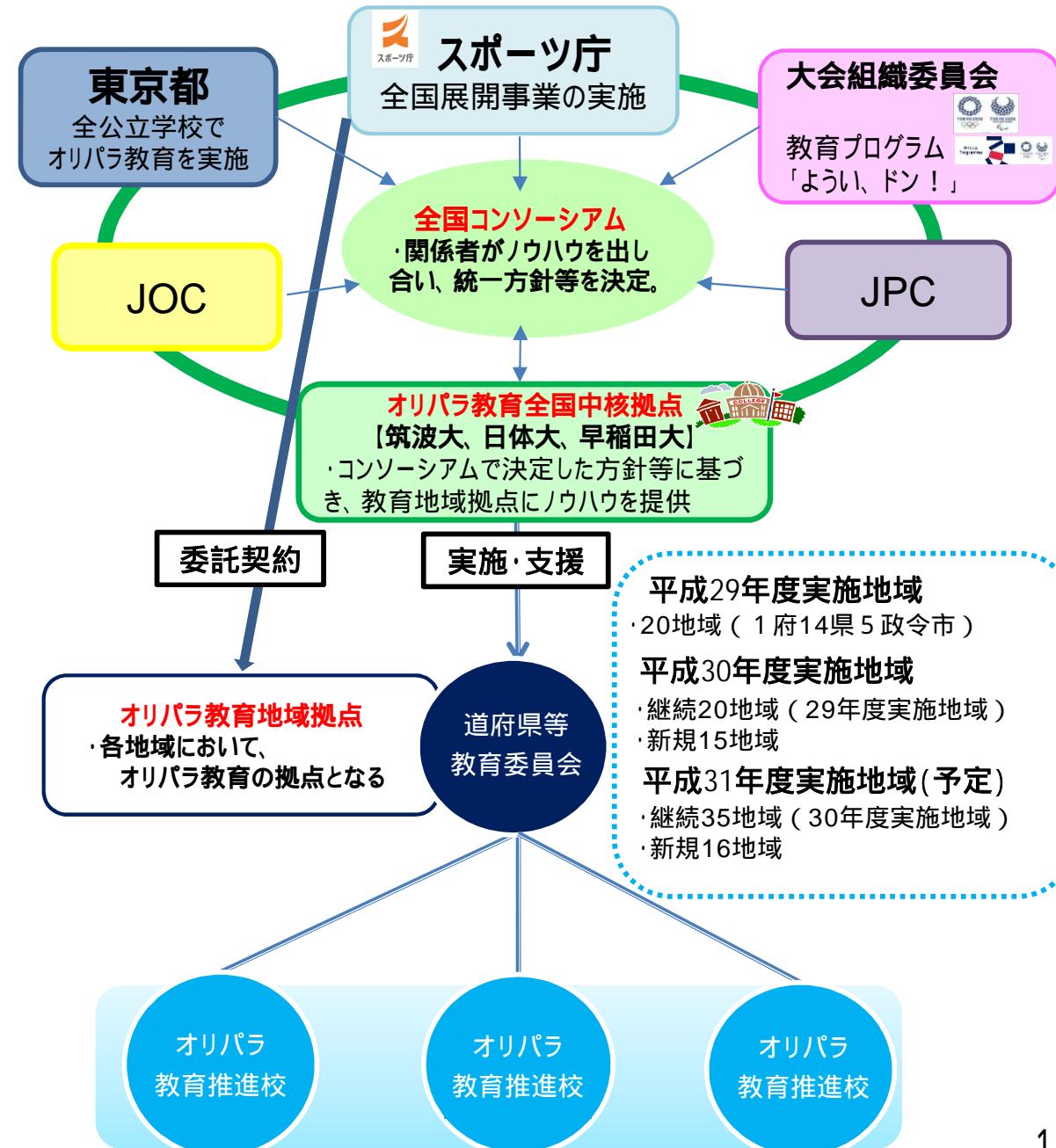


### 平成30年度実施地域：35地域

- ・平成29年度からの継続地域  
岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、石川県、岐阜県、静岡県、京都府、兵庫県、広島県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、札幌市、千葉市、京都市、大阪市、北九州市（1府14県5政令市）
- ・平成30年度新規地域  
北海道、栃木県、群馬県、埼玉県、愛知県、滋賀県、和歌山県、山口県、香川県、愛媛県、大分県、横浜市、新潟市、静岡市、神戸市（1道10県4政令市）



## 平成31年度 オリパラムーブメント全国展開事業



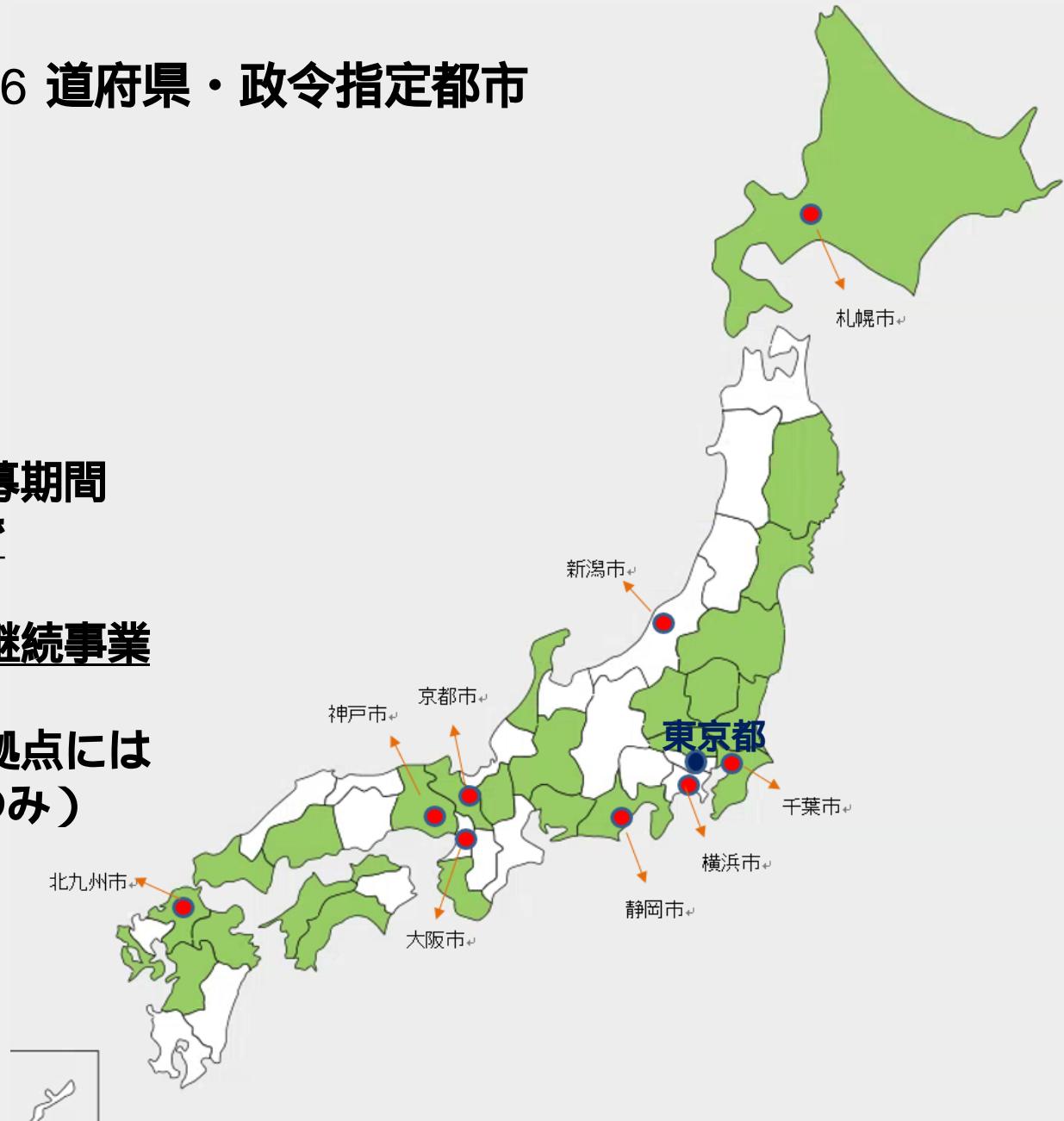


## オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

2018年度実施： 35地域 / 66 道府県・政令指定都市

- ：26道府県
- ： 9政令市
- ： 東京都

1. オリパラ教育地域拠点の公募期間  
2019年2月22日（金）まで
2. 2019, 2020年度の2年間継続事業
3. パラ競技の観戦を行う地域拠点には  
200万円加算（2019年度のみ）



## 取組事例

### 推進校の取組 1

学校名 宮城県白石市大平小学校（全校児童）

白石市はベラルーシのホストタウン。  
ベラルーシ新体操の事前合宿を誘致

#### 目標・ねらい

- ・オリンピックに参加する国の文化や歴史等を知ることで、国際教育の充実を図り、豊かな心の育成を推進する。
- ・オリンピック競技選手と児童の直接的な交流を通して、オリンピックとスポーツに关心興味を持たせる。

#### 実施内容

##### 「ベラルーシ新体操チームとの交流会」

（事前学習）・ベラルーシについて調べ、交流会の準備をする。

（応援旗の作成、日本の昔遊びの準備）

・もちつき体験やもち試食会のためのもち米を準備する。

##### （当日）

・ベラルーシ新体操チームによる種目紹介、児童の競技体験

・伝統文化体験 こま、竹とんぼ、けん玉、お手玉での遊び方を紹介し体験してもらう。  
もちについてもらい、準備してあるもちを試食してもらう。

・応援・プレゼント

・4年生以上でソーラン節を踊り最後に手作りの応援旗をプレゼントする。



#### 実践の成果（アンケート結果）

- ・交流を持ったことで、国際交流に対する意欲が高まった様子が児童の感想文から感じられた。
- ・選手を身近に感じることができたため、オリンピックへの関心も高まっている。
- ・東京オリンピックでの新体操以外の種目や、活躍が期待される日本の選手を調べようとする児童も見られた。



オリパラ教育推進校の取組の報告をスポーツ庁HPに載せていますのでぜひご参照ください。

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1408869.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1408869.htm)

## 地域で開催される障がい者スポーツ大会



2018年11月 国際車いすバスケットボール大会(北九州市)



2019年5月 世界トライアスロンシリーズ(横浜)



2018年11月 大分国際車いすマラソン大会(大分県)



今後の日程は日本障がい者スポーツ協会HP (<http://www.jsad.or.jp/calendar/competition/index.html>) 参照

## 2019年パラ競技の国際大会等（例）

日程	競技名	会場	イベント名	主催者	規模
5月18日～5月19日	パラトライアスロン	神奈川（横浜）	ITU世界パラトライアスロンシリーズ横浜大会	ITU	国際大会
7月	パラ自転車	静岡・山梨など	ジャパンパラロード	?	国際大会
8月1日～8月3日	パラ卓球	東京（港区）	ITTF ITTFパラ ジャパンオープン2019東京大会	ITTF	国際大会？
8月15日～8月18日	パラトライアスロン	東京（お台場）	ITUパラトライアスロンW杯	テストイベント	国際大会
9月28日～9月29日	ゴールボール	千葉（幕張メッセ）	ジャパンパラゴールボール	JPSA	日本一決定戦
10月12日～14日	全国障がい者スポーツ大会	茨城	いきいき茨城ゆめ大会	茨城県	日本一決定戦
11月13日～11月17日	パラバドミントン	東京（代々木）	JAPANパラバドミントン国際大会	日本障がい者バド協会	国際大会
11月22日～11月24日	パラ馬術	兵庫（三木）	全日本パラ馬場馬術大会	日本障がい者乗馬協会	日本一決定戦
2月28日～3月1日	ボッチャ	東京（有明）	ジャパンパラボッチャ	JPSA	日本一決定戦
3月12日～3月15日	ウィルチェアラグビー	東京（代々木）	ジャパンパラウィルチェアラグビー	JPSA	日本一決定戦

…東京2020大会のテストイベント

東京2020組織委員会のテストカレンダー参照 URL: <https://tokyo2020.org/jp/games/sport/testevents/>